

創立記念日を迎えるにあたり

明日11月14日は登美ヶ丘高校33回目の創立記念日です。本校は昭和62年4月に開校されました。日本書紀や古事記に記された「とびのむら鷓邑」の「登美」に由来した地である、「登美ヶ丘」という一般化された地名を校名としています。



校章の外輪の輪華は、中世より伝承された輪花天目盆をデザイン化し、古人が茶道を通して豊かな心と友愛の輪を広げたと言われている精神を受け継いでいます。内側は、学校周辺に自生する「コバノミツバツツジ」の三つ葉を表すとともに、西の京、矢田、生駒丘陵を象徴し、知・徳・体の成長を願っています。中央の高は、灯ろうを象り、その光が県内に輝き、新しい校風樹立と発展につながることを念じて作成されています。

本校が登美ヶ丘高校として校章に込めた願いのもと、「誠実・勤勉・剛健」を校訓としてスタートして、今年で33年目を迎えます。明日は、来し方の登美高を振り返る日にするとともに、創立の意義に思いを馳せ、これからの毎日を有意義に送れるよう、我々登美ヶ丘に集う全てのものにとって最も大切な日として創立記念日を迎えましょう。